

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和02年01月15日

計画の名称	岡山県における安全で快適に生活できる港湾海岸づくりの推進（防災・安全）												
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	岡山県												
計画の目標	平成16年に既往最高潮位を記録した台風16号や23号などにより浸水被害が発生した海岸において、高潮対策事業及び老朽化対策緊急事業を実施し、高潮・津波から県民の安全安心を確保する。 今後発生が予想される南海トラフ巨大地震における浸水想定と被害想定を踏まえ改訂した岡山県沿岸海岸保全基本計画に基づき、耐震性能調査を実施し対策が必要な海岸を抽出する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	2,197	A	2,197	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R2当初)	(R4末)	(R6末)
1	岡山県の港湾海岸における高潮対策や老朽化対策により、H16年と同規模の高潮が発生した場合における浸水家屋解消 東備港海岸において、H16年と同規模の高潮が発生した場合に浸水の危険性がある家屋数	864戸	864戸	0戸
2	岡山県の港湾海岸における高潮対策や老朽化対策により、H16年と同規模の高潮が発生した場合における浸水家屋解消 牛窓港海岸において、H16年と同規模の高潮が発生した場合に浸水の危険性がある家屋数	817戸	817戸	0戸
3	岡山県の港湾海岸における高潮対策や老朽化対策により、H16年と同規模の高潮が発生した場合における浸水家屋解消 岡山港海岸において、H16年と同規模の高潮が発生した場合に浸水の危険性がある家屋数	37戸	37戸	0戸
4	岡山県の港湾海岸における高潮対策や老朽化対策により、H16年と同規模の高潮が発生した場合における浸水家屋解消 児島港海岸において、H16年と同規模の高潮が発生した場合に浸水の危険性がある家屋数	340戸	340戸	0戸
5	岡山県の港湾海岸における高潮対策や老朽化対策により、H16年と同規模の高潮が発生した場合における浸水家屋解消 北木島港海岸において、H16年と同規模の高潮が発生した場合に浸水の危険性がある家屋数	18戸	18戸	0戸

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R02	R03	R04	R05	R06				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
海岸事業	A09-001	海岸	一般	岡山県	直接	岡山県	高潮	港湾	東備港海岸高潮対策事業	護岸改良L=1460m	備前市	■	■	■	■	■	615	91.5	—	
	A09-002	海岸	一般	岡山県	直接	岡山県	高潮	港湾	牛窓港海岸高潮対策事業	護岸改良L=520m	瀬戸内市	■	■	■	■	■	856	121.5	—	
	A09-003	海岸	一般	岡山県	直接	岡山県	老朽化	港湾	岡山港海岸老朽化対策緊急事業	護岸改良L=334m	岡山市	■	■	■	■	■	80		策定済	
A09-004	海岸	一般	岡山県	直接	岡山県	高潮	港湾	児島港海岸高潮対策事業	離岸堤L=430m	倉敷市	■	■	■			506	41.1	—		
A09-005	海岸	離島	岡山県	直接	岡山県	老朽化	港湾	北木島港海岸老朽化対策緊急事業	護岸改良L=510m	笠岡市	■	■				90		策定済		
A09-006	海岸	一般	岡山県	直接	岡山県	耐震	港湾	岡山県港湾海岸耐震対策緊急事業	耐震性能調査	岡山県沿岸	■	■	■	■	■	50		—		
										小計						2,197				
										合計						2,197				

## 事前評価チェックシート

計画の名称： 岡山県における安全で快適に生活できる港湾海岸づくりの推進（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①上位計画等との整合性（計画の目標が海岸保全基本計画や地域防災計画等の上位計画と整合している。）	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性 ○計画の目標が過去の災害や切迫する災害に伴う被害の防止・軽減、環境整備	○
II. 計画の効果・効率性 ①整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
II. 計画の効果・効率性 ②定量的指標の明瞭性	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等	
II. 計画の効果・効率性 ○事業内容は、計画の目標を達成する有効な手段となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 1) 事業規模、施設諸元が適切であり事業実施により十分な効果が発揮される。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 隣接する海岸と整合した整備が行われている（又は整備予定）。	○
III. 計画の実現可能性 ①円滑な事業執行の環境	
III. 計画の実現可能性 1) 住民等の合意形成が整っている。	○
III. 計画の実現可能性 2) 事業計画のスケジュールは妥当なものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 ②地元の機運	
III. 計画の実現可能性 1) 海岸事業の実施に向けた機運が高い。	○



# 社会資本総合整備計画（港湾海岸事業）

計画の名称	岡山県における安全で快適に生活できる港湾海岸づくりの推進（防災・安全）		
計画の期間	令和2年度～令和6年度（5年間）	交付団体	岡山県

